

2015年12月28日

株式会社 Trigence Semiconductor への追加出資の決定について

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 勝又幹英）は、フルデジタルスピーカーを実現可能にする独自のデジタル処理技術を実装した半導体およびモジュールの開発販売を行う株式会社 Trigence Semiconductor（以下「Trigence」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 岡村淳一）に対し、更なる事業展開の加速に必要な成長資金として5.2億円を上限とする追加出資を実行しました。

また、既存株主であるインテル キャピタル、およびモジュールの共同開発パートナーであるTDK株式会社も、Trigenceに対して出資を実行済みです。

Trigenceは、世界初のデジタル信号によるスピーカーコイル駆動が可能なデジタル変調技術「Dnote®」を開発しました。Dnote®では、デジタル音源をアナログ波に変換せずに直接スピーカー駆動をさせることが可能です。これによって、音響システムからアナログ変換装置やアンプ装置を無くすことができるため、消費電力の大幅削減、省スペース化に大きく貢献します。

株式会社 Trigence Semiconductor（トライジェンス セミコンダクター）について

設立	2006年2月
事業内容	独自デジタル処理技術「Dnote®」を実装した音響向け半導体の設計・販売
本社所在地	東京都千代田区外神田 2-5-15
アメリカ子会社	Trigence Semiconductor USA（シリコンバレー）
代表取締役社長	岡村 淳一
URL	http://www.trigence.com/

注）Dnoteは、日本、米国及びその他の国における株式会社 Trigence Semiconductorの商標または登録商標です。

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の

判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株)産業革新機構 (INCJ) 企画調整室 大森、信田

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング21階

電話 : 03-5218-7200 (大代表)